

ブラジル金融政策（2025年6月）

サプライズ利上げで政策金利は15.00%に

2025年6月19日

当面は政策金利が据え置かれ、利下げ転換の時期を探る局面に

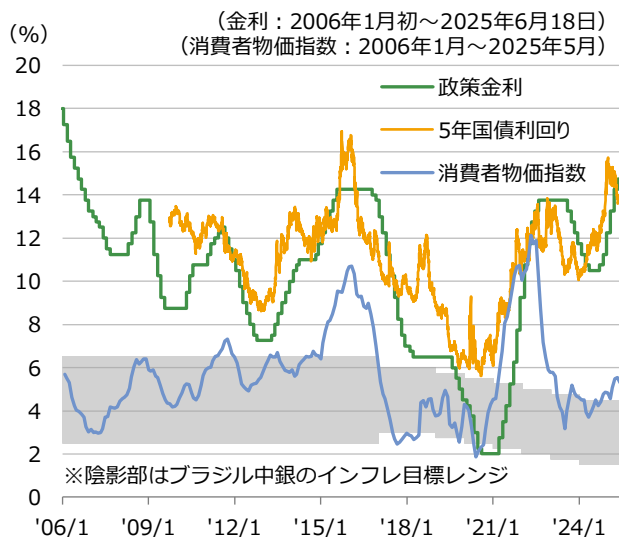
ブラジル中央銀行は6月17～18日（現地）に金融政策決定会合を開催し、政策金利を14.75%から15.00%に引き上げることを決定しました。利上げは昨年9月から7会合連続です。

同行は、前回会合で利上げを決定した際、従来とは異なり追加利上げを示唆しませんでした。その後、インフレ鈍化の兆候を示す経済指標が散見される中、市場では利上げ局面は終了したとの見方が大勢となっていたため、今回の決定はサプライズです。インフレ率が目標レンジを上回って推移する中、経済の減速が想定よりも緩慢であることなどが、利上げ決定の背景にあるようです。一方、今回の声明文には「予想されるシナリオが実現した場合、まだ顕在化していない利上げの累積的な効果を検証するため、利上げサイクルの停止を想定している」と記し、当面の政策金利据え置きを示唆しました。

今後の焦点は、利下げ転換の時期に移ったと言えます。同行は「インフレ率の目標への収束を確実にするため、非常に長期にわたって顕著に引き締めの金融政策を続ける必要がある」などと記しており、中長期のインフレ期待が目標に向かって低下するか否かが利下げ開始の判断に影響しそうです。その意味では、財政健全化に向けた政府・議会の動きや、利上げの効果で今年後半に見込まれる経済の更なる減速が、中長期のインフレ期待にどう作用するかに注目です。

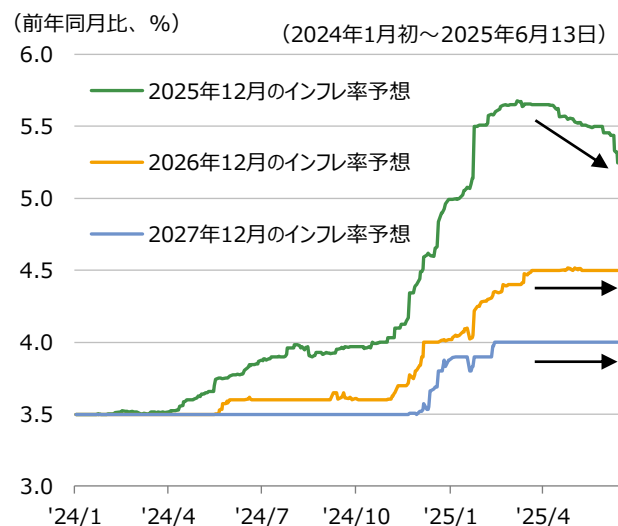
為替市場では、当面の政策金利高止まりがブラジル・レアルの下支え要因になると想定されます。

ブラジルの金利とインフレ率



※消費者物価指数は前年同月比、5年国債利回りは2009年9月21日～
(出所) ブルームバーグ、ブラジル地理統計院、ブラジル中央銀行

ブラジルのインフレ率に関する市場予想の変化



(出所) ブラジル中央銀行

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management